

# 宮代町新水道ビジョンの改訂について

## 1. 宮代町の水道事業について

### 1) これまでのあゆみ

宮代町の水道事業は、昭和 34 年に創設事業認可を受け建設に着手し、昭和 36 年に第 1 浄水場が完成し給水を開始しました。その後、人口増加とともに昭和 48 年に第 2 浄水場、平成 8 年に宮東配水場が完成し、社会情勢の変化に対応しながら事業を拡張してきました。

しかし、人口は平成 7 年にピークを迎え、近年では人口減少に伴い、配水量も減少傾向であることから、老朽化が進行する第 1 浄水場を平成 30 年 12 月に廃止しました。

現在は、自己水源及び埼玉県行田浄水場の水を受水する第 2 浄水場と埼玉県庄和浄水場の水を受水する宮東配水場の 2 施設から町内へ配水しています。

### － 水道事業のあゆみ－

年月	主な事業
昭和 36 年 5 月	第 1 浄水場と第 1 水源施設が完成【給水開始】
昭和 38 年 6 月	第 2 水源施設が完成
昭和 43 年 8 月	第 3 水源施設が完成
昭和 47 年 6 月	第 4・5 水源施設が完成
昭和 48 年 7 月	第 2 浄水場と第 6・7・8・9 水源施設が完成
昭和 56 年 6 月	第 2 浄水場内 PC タンクが完成
昭和 56 年 7 月	県水受水を開始
平成 8 年 3 月	宮東配水場が完成
平成 30 年 12 月	第 1 浄水場廃止、第 1・2・3・4・5・6 水源廃止

## 2) 施設の概要

**自己水+県水**  
配水能力 9,630m<sup>3</sup>/日  
第2浄水場 (S48)

**県水**  
配水能力 4,200 m<sup>3</sup>/日  
宮東配水場 (H8)

第2浄水場では3つの深井戸からくみ上げ滅菌した地下水と、行田浄水場(利根川)から受水した県水を町内へ配水しています。

庄和浄水場(江戸川)から受水した県水を町内へ配水しています。現在、耐震補強のために増設中です。

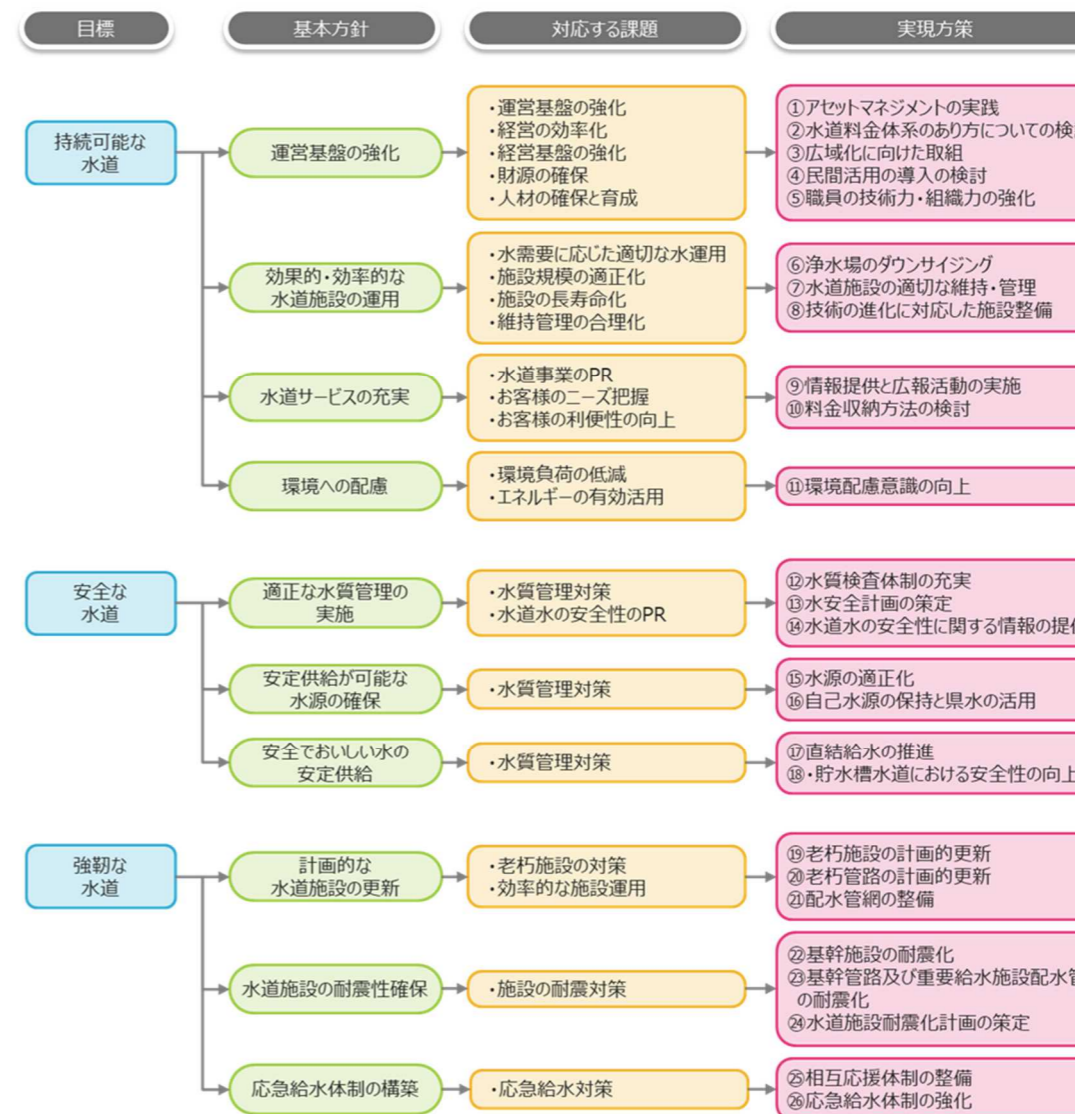
## 2. 現行の『宮代町新水道ビジョン(平成 30 年 3 月)』について

水道事業を取り巻く事業環境は、少子高齢化や使用水量の減少などによる料金収入の減少が見込まれる一方で、これまでに整備した浄水場や管路が順次、更新時期を迎えようとしています。今後の更新需要増大に対応するためには、巨額の資金を準備しておく必要があり、水道事業の経営にとって、ますます厳しい風向きとなっています。

このような背景の下、平成 25 年 3 月に、厚生労働省は『新水道ビジョン』を策定・公表しました。この新水道ビジョンは、水道を取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、これまで国民の生活や経済活動を支えてきた水道の恩恵を、今後も全ての国民が継続的に享受し続けることができるよう、50 年、100 年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、その理想像を具現化するため、今後、当面の間に取り組むべき事項、方策を提示しているものです。

そのため、平成 30 年に策定した『宮代町新水道ビジョン』では、このような背景を踏まえて、長期的視点に立った水道事業の理想像を掲げ、「持続」「安全」「強靱」の観点から、理想像に向けた目標を設定し、現実的・具体的な実現方策を策定し、事業を推進してきました。

### － 現行の宮代町新水道ビジョンが掲げる水道の理想像 －



### 3. 「宮代町新水道ビジョン」の改訂の背景と目的

#### 1) 改訂の背景

総務省は各公営企業に対し、経営環境が厳しさを増す中、事業経営を継続するために、中長期的な経営の基本計画である経営戦略について、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むよう令和7年度までの見直しを要請しています。また、宮代町水道事業においては、経営戦略を包括した上位計画である「宮代町新水道ビジョン」の策定から5年が経過しており見直しの時期を迎えています。

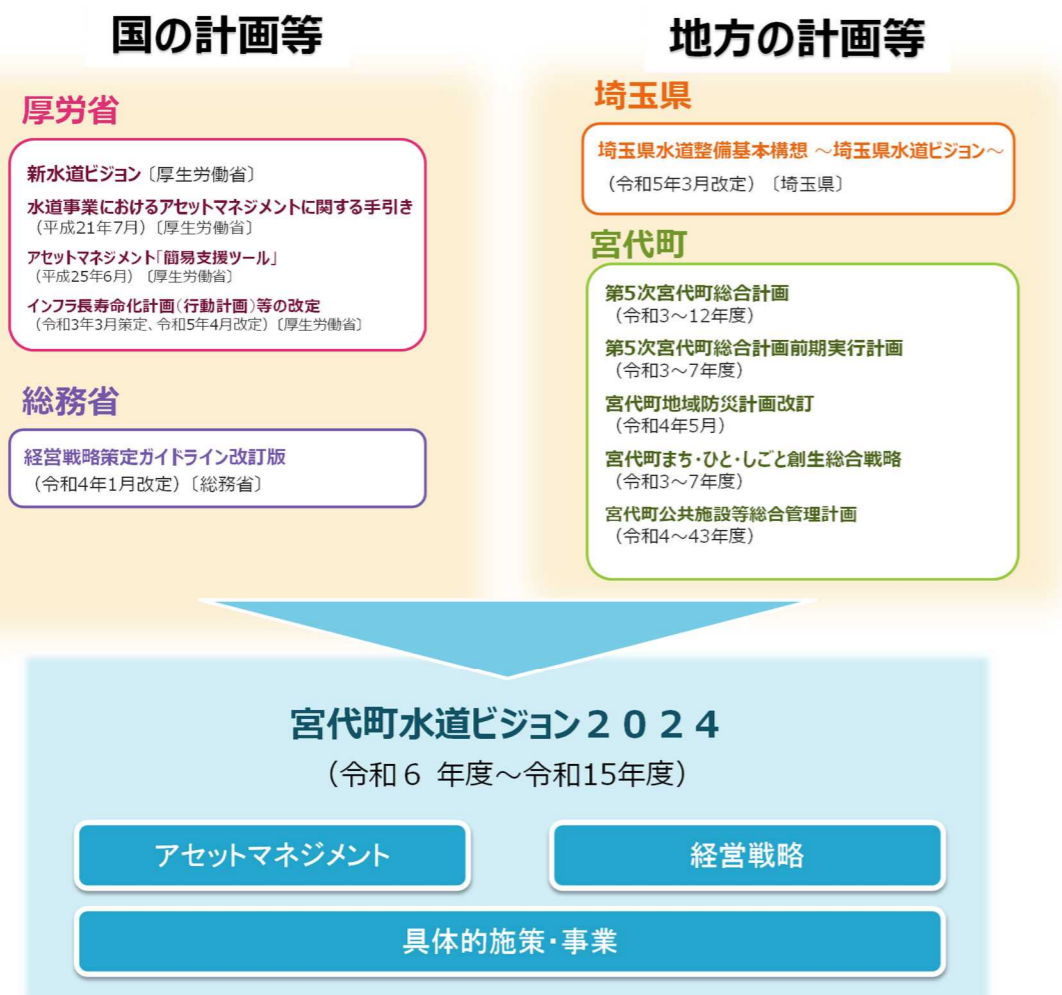
#### 2) 改訂の目的

「宮代町新水道ビジョン」の策定から約5年間が経過し、その間、全国的には人口減少等に伴う水需要の大幅な減少に加え、施設の老朽化に伴う更新需要の増大、職員数の減少による人材の確保・育成が必要になっており、抜本的な改革の検討が進められています。さらには、近年の物価高騰への対応や、積極的なデジタルの活用（DX）の推進が求められるなど、近年の水道事業を取り巻く社会・経済情勢の変化には著しいものがあります。そこで、新たに『宮代町水道ビジョン2024（仮）』では、このような背景を踏まえて、水の需要量をはじめとする諸条件の変化を反映するとともに、施設整備、事業経営の面から令和6年度から令和15年度までの向こう10年間にわたる水道事業の基本計画を策定するものです。

#### 3) 位置づけ

「宮代町新水道ビジョン」の改訂に当たっては、国、埼玉県及び町の計画を上位計画とし、これらとの整合、アセットマネジメント及び経営戦略に基づく検討を踏まえて策定します。

#### － 『宮代町水道ビジョン2024（仮）』の位置づけ －



### 4. 『宮代町水道ビジョン2024』の策定手順

令和5年度にて、次に掲げる基本方針のもと、水需要、施設整備、事業経営の面から総合的に水道事業基本計画を策定することとしています。

#### 基本方針

- ① 中長期的な視点でアセットマネジメントの検討を行い、さらなる施設の統廃合やダウンサイジングを検討し、より効率的で持続可能な水道システムの構築に寄与する。
- ② 水道事業に対するお客様の理解を得ることを目指し、努めてお客様の立場・目線で検討を進める。
- ③ 国が推進する経営戦略についても包括することとし、経営戦略策定ガイドラインに沿った項目を盛り込むこととする。
- ④ 事業の健全経営を確保するため、経営効率化方策を検討し、効率化に向けた目標を定める。
- ⑤ 各種の施策事業に設定する目標には透明性と客観性を持たせるとともに、計画のフォローアップを容易にするため、定量評価を可能とする指標を設定する。

#### － 『宮代町水道ビジョン2024』の策定手順 －

